

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

講座の名称	東洋療法専科 I 部													
実施方法	① 通学 (昼間) ・ 夜間 ・ 土日) ② 通信 スクーリング (回数 回)													
指定講座番号	6	4	0	0	9	—	1	5	2	0	0	2	—	8
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金対象講座の指定期間 平成 14年 4月 1日					過去一年の講座実績		入講者数(累積) (0人)			修了者数 (0人)			
訓練期間	平成 30年 9月 30日まで					36ヶ月		総訓練時間			2484時間			
1. 教育訓練目標														
①取得目標とする資格の名称、目標レベル						■業務独占資格・名称独占資格 (はり師)								
						□職業実践専門課程 ()								
						□専門職学位 ()								
						教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等								
②①に係る資格・試験等の実施機関名称						厚生労働省								
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等						あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師法に定められた要件をみたしていること								
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況						鍼灸院、接骨院、整骨院、病院、スポーツ業界、美容業界など								
2. 教育訓練の内容														
教科 (カリキュラム)						時間			使用教材名					
職業倫理学						30								
健康と生活環境						30			図説 国民衛生の動向2015					
生物学						30			生理学(第3版)					
薬理学・漢薬学						30			本当に明日から使える漢方薬、くすりの事典2016					
心理学						30								
医療英語						16			医療英語コミュニケーション					
東洋文学史						30								
古典						30								
基礎解剖学 I						60			解剖学(第2版)、ボディーナビゲーション					
基礎解剖学 II						60			解剖学(第2版)					
基礎生理学						60			生理学(第3版)					
解剖生理学						60			解剖学(第2版)、生理学(第3版)					
機能解剖生理学						30								
運動器実技						30			ボディーナビゲーション					
公衆衛生学						30			衛生学・公衆衛生学、図説 国民衛生の動向2015					
リハビリテーション医学						30			リハビリテーション医学(第4版)					
病理学概論-1						30			病理学概論(第2版)					
病理学概論-2						30			病理学概論(第2版)					
臨床医学各論 I						30			臨床医学各論(第2版)					
臨床医学各論 II						90			臨床医学各論(第2版)					
臨床医学各論 III						30			臨床医学各論(第2版)					
臨床医学各論 IV						30			臨床医学各論(第2版)					
関係法規						16			関係法規					
社会福祉概論						16								
東洋医学概論 I						60			東洋医学概論(第2版)					
東洋医学概論 II						60			東洋医学概論(第2版)					
はりきゅう理論-1						30			はりきゅう理論					
はりきゅう理論-2						30			はりきゅう理論					
経絡経穴学						60			新版 経絡経穴概論					
東洋医学臨床論 I						60			東洋医学臨床論(はりきゅう編)					
東洋医学臨床論 II						60			東洋医学臨床論(はりきゅう編)					

診察学	60	臨床医学総論
医療面接	16	
社会あはき学Ⅰ	16	
社会あはき学Ⅱ	16	
社会あはき学Ⅲ	16	
基礎はり実技	60	はりきゅう実技(基礎編)
基礎きゅう実技	60	はりきゅう実技(基礎編)
臨床はりきゅう実技Ⅰ	30	
臨床はりきゅう実技Ⅱ	60	
経絡経穴実技	30	新版 経絡経穴概論
臨床きゅう実技	30	
応用はりきゅう実技	6	
徒手検査法	6	
体表触察実技—1	60	
体表触察実技—2	30	
臨床実習—1	45	
臨床実習—2	45	
ポリクリニック	60	
総合基礎実技	60	
人体の構造と機能Ⅰ	30	解剖学(第2版)
人体の構造と機能Ⅱ	30	生理学(第3版)
症候学各論	30	臨床医学各論(第2版)
診断病態生理	30	リハビリテーション医学(第4版)、臨床医学総論
疾病と予防	30	
応用経穴学	16	新版 経絡経穴概論
東洋医学総合論	30	東洋医学概論(第2版)、東洋医学臨床論(はりきゅう編)
ベッドサイド療法	30	
臨床スポーツ鍼灸学	60	スポーツ鍼灸の実際
フィットネストレーニング	30	
ストレッチング演習	30	
臨床中医学	60	中医鍼灸そこが知りたい、問診のすすめ
臨床経絡学	60	経絡治療のすすめ
臨床現代鍼灸学	30	
介護技術	30	
ウェルネスコーチング	30	
身体診察実技	30	
応用刺鍼概論	16	

3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)

①受講するに当たって必要な実務経験等	なし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	高等学校卒業以上
③その他	

〔特記事項〕

--

専門実践教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	18	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	22	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	18	人	受験率(②/①)	81.1	%
④ ③のうち合格者数	18	人	合格率(③/②)	100.0	%
⑤ ②(入講数)のうち就職者数 ※1	18	人			
⑥ ②(入講数)のうち在職者数 ※2	0	人	就職・在職率(⑤+⑥/①)	81.1	%

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で終了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、終了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		0	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	0	人	②A: 就業者計	0 人
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 学生	0	人	②B: 非就業者計	0 人
	5 求職中	0	人		
	6 その他(主婦、無職等)	0	人		
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	0 人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0 人
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0 人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	0	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	0 人
	2 おおむね満足	0	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	定期試験・進級試験(出席率80%以上、得点60%以上で認定)、小テスト・実技試験において測定し到達度を把握する。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

6. 受講効果の把握方法			
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験・進級試験等の具体的な基準)	出席率が80%以上、定期試験・進級試験において60%以上の得点の者に対して修了を認定する。(本学規則21条)		
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	小テストや実技試験等を行い、不十分であると判断した場合個別に指導を行っている。		
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	出席率が80%以上、卒業試験において60%以上の得点の者に対して修了を認定する。(本学規則21条)		
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	小テストや実技試験等を行い、不十分であると判断した場合個別に指導を行っている。		
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	質問を随時受け付け、希望に応じて個別指導を行っている。		
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 <small>(例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)</small>	受験情報・資格関連の求人情報を掲示板に掲示している 就職ガイダンスの実施等		
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	学校法人 彩煌学園 (代表者名: 君嶋 博明)		
住所及び連絡先	神奈川県横浜市戸塚区川上町84-1		TEL 045-820-1329
施設名称及び施設長名	湘南医療福祉専門学校		(施設長: 君嶋 真理子)
住所及び連絡先	神奈川県横浜市戸塚区川上町84-1		TEL 045-820-1329
苦情受付者	氏名 佐久間 克己 所属 総務部 部長	事務担当者	氏名 森 恵子 所属 総務部 主任
連絡先	TEL 045-820-1329		連絡先 TEL 045-820-1329
専門実践教育訓練経費支払い方法 ①一括払い ②分割払い ③両方可能	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		3,529,731 円
	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		900,000 円
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		2,629,731 円
	第1期 504,731 円 第2期 425,000 円 第3期 425,000 第4期 425,000 第5期 425,000 円 第6期 425,000 円		
	(うち、必須教材費 79,731 円)		
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		526,000 円
	① 任意の教材費(税込額)		13,608 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		0 円
	③ 施設維持費(税込額)		600,000 円
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)		61,800 円
3. 総額 (1+2) (税込額)		4,205,139 円	